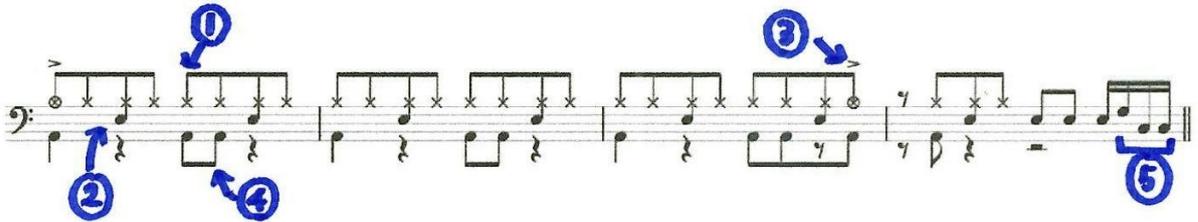


## みんなで、せーの

教務主任 白井 襄



これは、数種類の打楽器が一つにまとめて書かれた「ドラムセット」用の楽譜です。上段の✳印がシンバル、上向きの音符がスネアやタム(小太鼓の仲間)、下向きの音符がバスドラム(大太鼓)の叩くタイミングを表しています。

ドラムセットの椅子に座った人はこれを一度に叩くのですが、小学校の合奏ではほとんどの場合、それぞれの打楽器をそれぞれ別の子が担当し、「せーの」で合わせます。楽器の種類が多い方が、それぞれで練習や指導がしやすいからです。そして何よりも、たくさんの友達と協力することで、合奏する楽しさを味わうことができるからです。

ここで、ばらばらにした各楽器の「存在感」を比べてみます。たとえば「叩く回数」で比べると、①がほぼずっと音を出しています。そして②と④が一定の間隔で叩き、大枠を支えています。一方、③や⑤は、ほとんど登場しません。

「叩く強さ」はどうでしょうか。②や④は元々よく響く音なので、合奏では控えめに鳴らすこともありますが、③や⑤はここの見せ場で、思いっきり叩いてリズムに変化を与えます。

このように、打楽器一つ一つには、登場回数や音の違いによって、一つのリズムの中でも個性があります。演奏するにはまず、自分はどの叩き方がいいのかを確かめるでしょう。でもそれだけでは合奏は楽しくなりません。ただ自分の叩くタイミングだけを考えているだけでは、決められた通りに音を出しているだけなのです。自分以外にはどんな楽器があって、どんな音を出すのか。それを知ること、その中で自分にはどんな演奏ができるか、という存在価値がはっきりしてくるのです。

それぞれの楽器がこのような思いをもった時、合奏は「ただの音の集まり」ではなくなります。自分のことを伝えたい、相手のことを知りたいという気持ち、そして一緒に活動したいという気持ちこそが、自分一人だけではできない「合奏」の楽しさを膨らませます。相手と一緒に奏でていることを楽しむことができれば、「楽譜以上の音」を出すことができるのです。

学校や社会で繰り返される「自分も相手も大切に」という言葉には、そういう意味合いもあるのではないのでしょうか。自分の周りにいる「相手への意識」が、みんなが楽しくなる秘訣だと、私は思っています。子どもとともに影響し合い、まだまだ成長していきたい一人の人間として、大切に伝えていきたいことの一つです。

次ページ「各学年からのお知らせ」も、子どもたちの一年間の「合奏」の成果です。



## 各学年からのお知らせ

杉の子	●6年生の小学校最後の調理実習で、「しょうゆラーメン」と「ケーキ」を作ることになりました。この材料費、実は12月に実施した「すぎのこや(育てた野菜の販売学習活動)」の売り上げです。6年生がリーダーとして下級生を導き、みんなで協力して、自分たちで野菜を育て、自分たちで収穫し、自分たちで販売した一連の活動の集大成が、この「お楽しみ調理実習」です。子どもたちの頑張りのおかげで今年は豊作だったため、少しメニューが豪華になりました。今年の総まとめとして「がんばったらすてきなことがあった」という達成感が、それぞれの子どもの思い出に残ることを願っています。
1年	●入学当初は緊張した表情だった子どもたちも、今では自信に満ちた笑顔で学校生活を送っています。友達と助け合いながら、学びにも遊びにも前向きに取り組み、心も体もひと回り大きくなった一年でした。これからも一人一人に寄り添いながら、最後まで丁寧に指導してまいります。
2年	●生活科「明日へジャンプ」では、生まれてから今までの自分の成長について振り返る活動をしています。発表はクラスルームにも掲載する予定です。算数では、かけ算九九を一生懸命唱え、担任のテストに合格した後は、校長先生のテストがあります。3月までに全員合格を目指し頑張っています。
3年	●先日はご多用の中、授業参観にお越しいただき、ありがとうございました。子どもたちは少し緊張しながらも、日頃の学習の成果を意欲的に発表していました。総合的な学習の時間「城山・矢川探検」では、真剣なまなざしで活動に取り組み、それぞれが課題意識をもちながら学びを深めることができました。活動にあたり、準備やご家庭での声かけなど、保護者の皆様のご協力をいただき、ありがとうございました。
4年	●先日は、ご多用の中、天神太鼓の発表会にお越しいただきありがとうございました。総合的な学習の時間で『地域の伝統芸能受け継ぎ隊』として、谷保天神太鼓の方々に、お祭り等で披露される太鼓の演奏を教えていただきました。4回の練習の中で、真剣に話を聞き、少しずつ上達していきました。21日の発表会では、緊張した様子でしたが、終わった後は達成感に溢れた顔をしていました。4月からは5年生。高学年として色々な活動に参加する心構えを育てていきます。
5年	●調理実習について 白玉を作ります。あんこ・きなこ・醤油・砂糖を個人で好きなものを選んで、トッピングします。 【日時】1組…3月18日(水)1・2校時 2組…3月17日(火)1・2校時 【持ち物】エプロン・三角巾・マスク・ふきん 3月16日(月)までに持ってくるようお願いいたします。 ●最高学年まであと1カ月となりました。5年生としての学校生活の中で、多くのことを経験し、そこから学び、大きく成長してきました。最高学年に向けてさらに成長できるよう、引き続き指導していきます。
6年	●最高学年として 自分たちの企画を全校に向けて発信してきた委員会活動、初めて自分たちで立ち上げたクラブ活動、毎日の校旗の掲揚や全校朝会での発表など、1年間学校のために中心となって活動してきました。また、普段の生活では、挨拶や掃除、下学年への接し方など、常に「お手本」として見られることで、一人一人が個人としても集団としても大きく成長した1年間でした。2月からは、5年生への引継ぎも行っています。



## 学校からのお知らせ

### ○ユニセフ募金

代表委員会は、世界ではどのようなことで困っている子供たちがいるのか現状を知ってもらい、募金の協力を呼びかけました。今年度は学級閉鎖もあり、限られた期間の中でしたが、たくさんの方にご協力いただきました。また、袋に「すべてのこどもに〇〇を」という思いを書く欄にも、ご家庭で話し合っていたいただき、様々な言葉が集まりました。ご協力ありがとうございました。

### ○研究発表

国立市教育委員会研究奨励校として、令和6・7年度の2年間、国語科、体育科、生活科・理科の3つの分科会で、何度も教材研究を重ね、授業改善に取り組みました。個別最適な学びと協働的な学びの手だてを取り入れた授業づくりを目指しました。「個別最適な学び」では、自分の課題や活動目的を正しく捉えることができるようになり、自分に合わせて調べ学習や発表に取り組むことができるようになってきました。「協働的な学び」では、他者と伝え合うことで、自分の考えが広がり、新しい疑問が生まれたり、意見や次の活動への意欲が高まったりしてきました。今後も、個別最適な学びや協働的な学びの実践を継続しながら、更なる授業改善を進めていきます。

### ○新年度の登校

新年度は新たに2～5年生がクラス替えを行い、新しいクラスになります。始業式の前に新しいクラスの発表と、名簿の配布がありますので、下記の場所に集合してください。

学年・クラス	配布場所
新2年生	保健室前
新3年生	南側サッカーゴール前
新4年生	タイヤ前
新5年生	上り棒前
杉の子	動物ランド前